



平成23年8月10日

各位

株式会社T&Dホールディングス  
 (コード番号 8795 東証・大証第一部)  
 太陽生命保険株式会社  
 大同生命保険株式会社  
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

### 平成24年3月期第1四半期決算のお知らせ

T&D保険グループ（T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命）の平成24年3月期第1四半期（平成23年4月1日～平成23年6月30日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

#### 契約業績（生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険）

- 新契約高は、1兆7,262億円、前年同期から8.9%の減少、
- 解約失効高は、1兆805億円、前年同期から5.0%の減少、
- 保有契約高は、58兆2,432億円、前年度末から0.3%の増加となりました。

#### 損益関係（T&Dホールディングス連結）

- 経常収益は、5,814億円、前年同期から9.4%の減少、  
うち保険料等収入は、3,843億円、前年同期から0.1%の増加となりました。
- 経常利益は、288億円、前年同期から21.0%の減少となりました。
- 四半期純利益は、102億円、前年同期から27.0%の減少となりました。

#### 通期業績予想

- 通期業績予想の修正はありません。

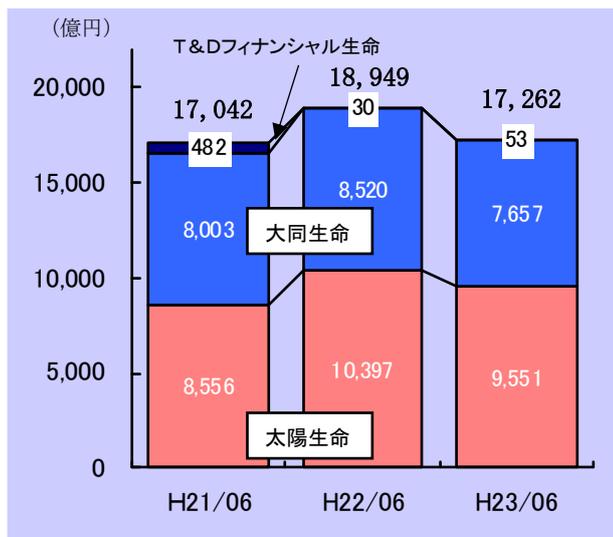
以上

#### 【お問合せ先】

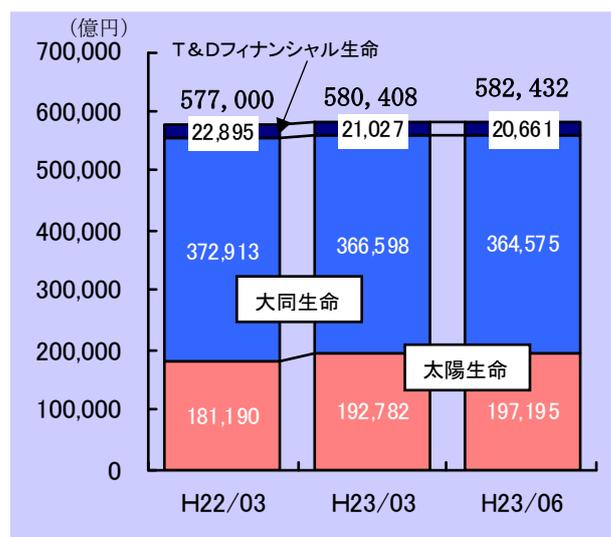
株式会社T&Dホールディングス	広報部	松尾	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	家徳	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	前田	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
新契約高	17,262	1,687 減 (8.9%減)	9,551	846 減 (8.1%減)	7,657	863 減 (10.1%減)	53	22 増 (73.5%増)
解約失効高 (解約失効率)	10,805	566 減 (5.0%減)	3,066	262 増 (9.4%増) (0.04ポイント上昇)	7,532	759 減 (9.2%減) (0.17ポイント低下)	206	68 減 (25.0%減) (0.22ポイント低下)
新契約年換算保険料	261	16 減 (5.8%減)	120	6 増 (5.3%増)	138	22 減 (13.8%減)	3	0 減 (0.6%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	35	7 増 (26.2%増)	20	1 減 (8.3%減)	15	9 増 (159.2%増)	—	— (—)

(注) 1. 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。  
2. 解約失効率は、年換算しておりません。

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減
保有契約高	582,432	2,023 増 (0.3%増)	197,195	4,412 増 (2.3%増)	364,575	2,023 減 (0.6%減)	20,661	365 減 (1.7%減)
保有契約年換算保険料	13,903	69 減 (0.5%減)	5,931	23 減 (0.4%減)	6,226	29 減 (0.5%減)	1,746	16 減 (1.0%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,622	3 減 (0.2%減)	1,077	5 減 (0.5%減)	501	3 増 (0.7%増)	44	0 減 (2.2%減)

■ 3社単純合算

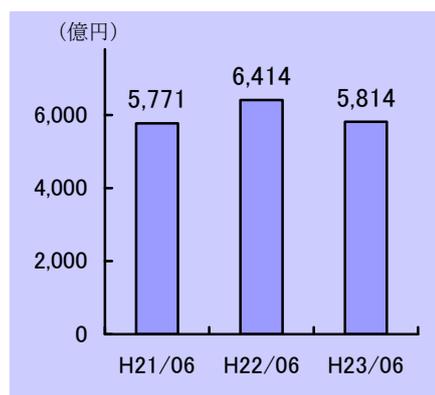
- ・新契約高は、1兆7,262億円、前年同期から8.9%の減少。  
これは主に、太陽生命と大同生命の新契約高が前年同期より減少したため。
- ・解約失効高は、1兆805億円、前年同期から5.0%の減少。  
これは主に、大同生命の解約が減少したため。
- ・保有契約高は、58兆2,432億円、前年度末から0.3%の増加。  
これは、太陽生命の保有契約高が前年度比2.3%増加したことなどによる。

■ 各社の状況

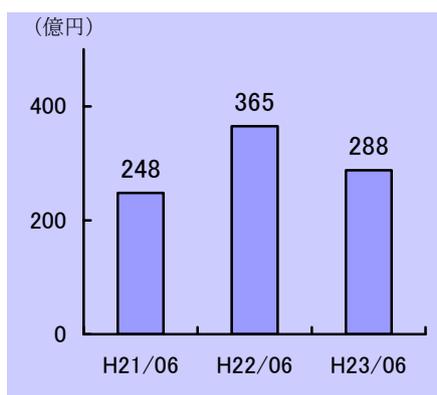
- ・太陽生命の新契約高は、9,551億円、前年同期から8.1%の減少。  
これは、主力の「保険組曲Best」の販売が前年同期を下回ったことによる。前年は「保険組曲Best」の1つである「生活応援保険」の発売により前々年同期比21.5%増と大きく伸展。今四半期はそれに及ばなかったものの、前々年同期に対しては11.6%増となっている。
- ・大同生命の新契約高は、7,657億円、前年同期から10.1%の減少。  
これは、主力の個人定期保険の販売が減少したため。  
主力の個人定期保険の新契約高に、同じく主力商品の一つとして昨年10月に発売した「無配当重大疾病保障保険（Jタイプ）」の重大疾病保険金額を加算した金額でみた場合、7,868億円、対前年同期3.8%の減少。  
※「Jタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高には計上されていません。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、53億円、前年同期から73.5%の増加。

## [損益関係]

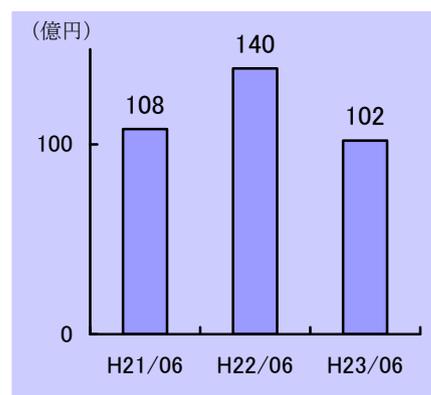
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○当期純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
経常収益	5,814	600 減 (9.4%減)	2,668	151 減 (5.4%減)	2,789	38 減 (1.4%減)	313	386 減 (55.2%減)
うち保険料等収入	3,843	2 増 (0.1%増)	2,014	25 減 (1.2%減)	1,735	9 増 (0.5%増)	91	17 増 (23.5%増)
うち資産運用収益	711	309 減 (30.3%減)	408	21 減 (4.9%減)	312	80 減 (20.4%減)	12	194 減 (94.1%減)
うちその他経常収益	1,259	292 減 (18.9%減)	245	105 減 (30.0%減)	741	32 増 (4.6%増)	210	209 減 (49.9%減)
経常費用	5,525	523 減 (8.7%減)	2,540	126 減 (4.8%減)	2,610	21 増 (0.8%増)	335	395 減 (54.1%減)
うち保険金等支払金	4,602	49 減 (1.1%減)	2,114	158 減 (7.0%減)	2,203	44 増 (2.1%増)	283	64 増 (29.2%増)
うち資産運用費用	223	472 減 (67.9%減)	100	26 増 (35.7%増)	108	28 減 (20.8%減)	28	455 減 (94.1%減)
経常利益（△損失）	288	77 減 (21.0%減)	128	24 減 (16.1%減)	178	59 減 (25.1%減)	△21	8 増 (29.5%減)
特別利益	0	0 減 (96.8%減)	—	0 減 (100.0%減)	—	0 減 (100.0%減)	—	0 減 (100.0%減)
特別損失	72	1 増 (2.8%増)	36	1 増 (3.3%増)	35	1 増 (4.4%増)	0	0 減 (72.9%減)
契約者配当準備金繰入額 （△戻入額）	72	6 増 (9.4%増)	39	3 増 (9.4%増)	32	2 増 (9.5%増)	△0	0 減 (—)
税引前四半期純利益 （損失△）	144	85 減 (37.3%減)	51	29 減 (36.3%減)	110	64 減 (36.8%減)	△21	9 増 (29.7%減)
法人税等合計	41	47 減 (53.9%減)	△4	20 減 (—)	49	29 減 (37.6%減)	△6	2 増 (26.0%減)
四半期純利益（△損失）	102	37 減 (27.0%減)	56	9 減 (13.9%減)	60	34 減 (36.2%減)	△15	6 増 (31.2%減)

(参考)

資産運用関係収支 （一般勘定）	512	326 減 (38.9%減)	307	52 減 (14.5%減)	205	76 減 (27.1%減)	6	199 減 (96.8%減)
--------------------	-----	-------------------	-----	------------------	-----	------------------	---	-------------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。  
 2. 保険料等収入の3社単純合算は3,841億円（前年同期比0.0%増）です。  
 3. 資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

## ■ T & Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、5,814億円、前年同期から600億円の減少。  
これは主に、資産運用収益、その他経常収益（責任準備金の戻入額）等の減少による。
- ・ **経常利益**は、288億円、前年同期から77億円の減少。  
これは主に、太陽生命と大同生命の資産運用関係収支が減少したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、102億円、前年から37億円の減少。  
なお、東日本大震災に係る保険金等の支払見込み額は、3社の安否確認活動結果等に基づき再評価したことにより、110億円と前年度末170億円から60億円減少。

## ■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、2,668億円、前年同期から5.4%の減少。
- ・ **保険料等収入**は、2,014億円、前年同期から1.2%の減少。  
これは主に、個人保険・個人年金保険の収入保険料が増加したものの、団体年金保険の収入保険料が減少したことによる。
- ・ **経常利益**は、128億円、前年同期から16.1%の減少。
- ・ **四半期純利益**は、56億円、前年同期から13.9%の減少。  
なお、価格変動準備金に35億円の繰入を実施（うち30億円は超過繰入）。また、東日本大震災に係る保険金等の支払見込み額は、32億円と前年度末49億円から16億円減少。

## ■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、2,789億円、前年同期から1.4%の減少。  
これは主に資産運用収益が減少したため。
- ・ **保険料等収入**は、1,735億円、前年同期から0.5%の増加。  
これは主に、一時払終身保険の販売が増加したため。
- ・ **経常利益**は、178億円と前年同期から25.1%の減少。  
これは主に一般勘定資産運用収支が減少したため。
- ・ **四半期純利益**は、60億円、前年同期から36.2%の減少。  
なお、価格変動準備金に33億円の繰入を実施（うち29億円は超過繰入）。また、東日本大震災に係る保険金等の支払見込み額は、75億円と前年度末118億円から43億円減少。

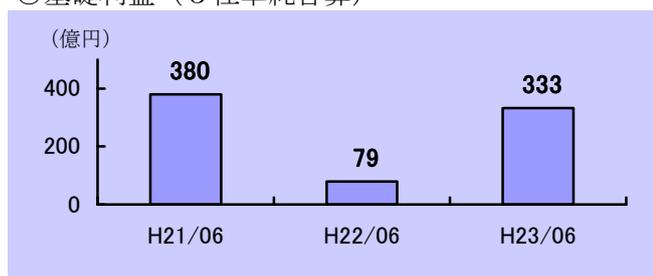
## ■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、313億円、前年同期から55.2%の減少。  
これは主に、相場変動に伴い、金銭の信託運用益が金銭の信託運用損に転じたことや変額個人年金保険の責任準備金戻入額が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、91億円、前年同期から23.5%の増加。
- ・ **経常利益（△損失）**は、△21億円、前年同期から29.5%の改善。
- ・ **四半期純利益（△損失）**は、△15億円、前年同期から31.2%の改善。  
なお、東日本大震災に係る保険金等支払見込み額は、前年度末2億円から若干減少。

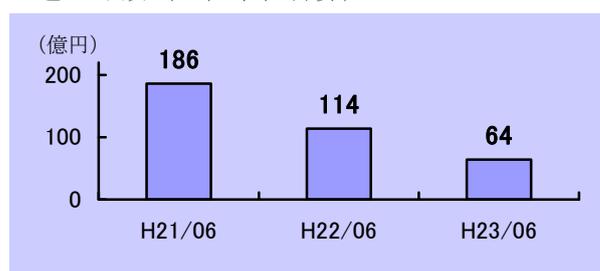
## [その他の指標等]

### <基礎利益と逆ざや>

#### ○基礎利益（3社単純合算）



#### ○逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
基礎利益	333	253 増 (319.8%増)	141	49 増 (53.4%増)	192	13 増 (7.7%増)	△0	190 増 (99.7%減)
逆ざや額	64	50 減	21	31 減	36	18 減	7	0 減

#### ■ 3社単純合算

- **基礎利益**は、333億円、前年同期から253億円の増加。  
これは主に、T&Dフィナンシャル生命の基礎利益の改善による。

#### ■ 各社の状況

- **太陽生命の基礎利益**は、141億円、前年同期から49億円の増加。  
**逆ざや額**は、21億円、前年同期から31億円の改善。  
これは主に、利息及び配当金等収入の増加および、予定利息負担が減少したため。
- **大同生命の基礎利益**は、192億円、前年同期から13億円の増加。  
**逆ざや額**は、36億円、前年同期から18億円の改善。  
これは主に、利息及び配当金等収入の増加および、予定利息負担が減少したため。
- **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、△0億円、前年同期から190億円の改善。  
これは主に、相場変動に伴い、変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が減少したことによる。  
**逆ざや額**は、7億円と前年同期並み。

### <ソルベンシー・マージン比率>

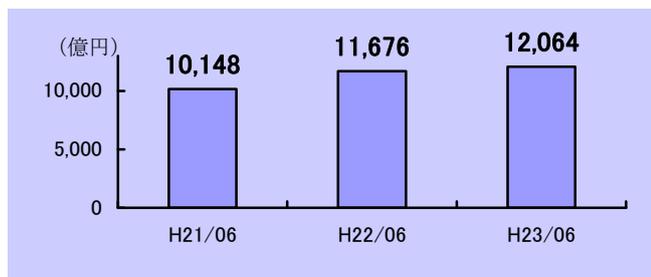
	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	1,167.9%	61.8ポイント低下	1,254.6%	17.4ポイント上昇	601.7%	9.5ポイント低下
(参考)新基準による ソルベンシー・マージン比率 ※	652.3%	18.5ポイント低下	744.8%	24.2ポイント上昇	555.3%	15.8ポイント低下

※2012年3月期より導入される新基準に基づくソルベンシー・マージン比率

#### ■ 各社の状況

- **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,167.9%、前年度末から61.8ポイント低下。  
これは主に、ヘッジ取引の減少により資産運用リスクが増加したため。
- **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,254.6%、前年度末から17.4ポイント上昇。  
これは主に、純利益・価格変動準備金の積み上げやその他有価証券評価差損益が増加したため。
- **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、601.7%、前年度末から9.5ポイント低下。  
これは主に、相場変動によりソルベンシー・マージン総額が減少したため。

<実質純資産（3社単純合算）>



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
実質純資産	12,064	586 増	4,932	396 増	6,200	165 増	931	24 増

(注) E E V計算上の修正純資産は、グループが9,031億円（前年度末比416億円増）、太陽生命が4,020億円（同278億円増）、大同生命が4,395億円（同120億円増）、T&Dフィナンシャル生命が615億円（同17億円増）です。

■ 3社単純合計

- ・ **実質純資産**は、1兆2,064億円と、前年度末から586億円の増加。  
これは主に、太陽生命および大同生命の純利益・価格変動準備金の積み上げや有価証券の差損益・含み損益の増加による。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の実質純資産**は、4,932億円、前年度末から396億円の増加。  
これは主に、純利益・価格変動準備金の積み上げや公社債等有価証券の差損益・含み損益の増加による。
- ・ **大同生命の実質純資産**は、6,200億円、前年度末から165億円の増加。  
これは主に、純利益・価格変動準備金の積み上げや有価証券の差損益・含み損益の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、931億円、前年度末から24億円の増加。  
これは主に、満期保有目的債券の差損益の増加による。

<有価証券差損益（一般勘定）>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比較増減	当第1四半期末	前年度末比較増減	当第1四半期末	前年度末比較増減	当第1四半期末	前年度末比較増減
有価証券差損益（一般勘定）	2,742	595 増	1,756	398 増	904	165 増	81	31 増
うち公社債	1,735	632 増	1,032	422 増	622	178 増	80	31 増
うち株式	1,100	119 減	778	100 減	322	19 減	—	—
うち外国証券	△111	73 増	△115	61 増	3	12 増	—	—
うちその他の証券	△95	20 減	5	2 増	△102	22 減	1	0 減
うち金銭の信託	△2	0 減	—	—	△2	0 減	—	—
うち買入金銭債権	116	29 増	55	12 増	61	16 増	—	—
土地等の差損益	191	1 減	15	0 減	175	0 減	—	—

(注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。  
2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

## [平成24年3月期通期業績予想]

平成23年5月19日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。  
参考として、同日公表の業績予想を再掲いたします。

### ○T&Dホールディングス連結

(単位：億円)

	平成23年3月期実績	平成24年3月期予想	増減
経常収益	19,930	19,500	430 減 (2.2%減)
経常利益	949	1,130	180 増 (19.0%増)
当期純利益	238	360	121 増 (50.8%増)

1株当たり年間配当金予想は45円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成24年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	8,900 (297 減) (3.2%減)	9,100 (526 減) (5.5%減)	2,700 (1,636 増) (153.9%増)
経常利益(△損失)	570 (71 増) (14.4%増)	540 (51 増) (10.6%増)	0 (70 増) (-)
当期純利益(△損失)	160 (34 増) (27.2%増)	200 (39 増) (24.5%増)	△0 (63 増) (100.0%減)

(注) 括弧内は平成23年3月期からの増減額・率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成24年3月期通期見通し

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,350 (272 増) (25.3%増)	550 (45 増) (9.1%増)	670 (48 増) (7.8%増)	130 (178 増) (-)
保険料等収入	16,700 (1,962 増) (13.3%増)	7,200 (20 増) (0.3%増)	7,100 (71 減) (1.0%減)	2,400 (2,013 増) (521.4%増)
逆ざや額	130 (163 減) (55.7%減)	40 (30 減) (43.0%減)	70 (121 減) (63.4%減)	20 (12 減) (37.6%減)
新契約高	68,300 (4,817 増) (7.6%増)	29,500 (1,367 増) (4.9%増)	36,500 (1,367 増) (3.9%増)	2,300 (2,082 増) (959.1%増)
保有契約高	585,700 (5,291 増) (0.9%増)	203,100 (10,317 増) (5.4%増)	361,300 (5,298 減) (1.4%減)	21,300 (272 増) (1.3%増)
解約失効率 (%)		6.3 (-)	8.9 (0.1 ポイント上昇)	3.7 (0.7 ポイント低下)

- (注) 1. 括弧内は平成23年3月期からの増減額・率です。  
 2. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。  
 また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以上